



J. A. R. L. 宮城県支部報

第 4 号

社団法人 日本アマチュア無線連盟
宮城県支部
昭和55年8月25日 発行
発行人 小元久仁夫 JA7AFP
編集人 小野寺三郎 JH7LDO

支部長就任のあいさつ

J. A. R. L. 宮城県支部長
JA7AFP 小元久仁夫

このたびのJARL役員改選にあたり、諸先輩および各クラブ代表者の皆様はじめ多くの方々の強い御推せんを頂き支部長に立候補いたし無投票当選となり、去る6月10日前支部長高山氏より職務を引き継ぎました。お蔭様にて新しい支部役員も下記の通り決定し、新規に幾つかの事業を追加して、逐次予定事業を進めております。

今後支部会員の皆様方から積極的かつ建設的な御意見を頂き、支部運営に反映させ、会員相互の親睦をはか

りながら支部の健全な発展のため、そして私達の共通の趣味であるアマチュア無線の発展のために私達支部役員一同皆様のお世話役として力を合わせて努力いたす所存でございます。どうぞ皆様方からの御協力と御支援をよろしくお願い申し上げます。

最後にこの2年間、支部の組織作り、発展に御尽力された高山前支部長と旧役員の皆様方御苦勞様でした。これからも支部活動に御協力と御助言を賜りますようお願いを申し上げます。

昭和55・56年度宮城県支部役員一覧

役名	コールサイン	氏名	〒	住 所	自宅電話
支部長	JA7AFP	小元久仁夫			
幹事					
企画担当	JA7UCT	高橋 信男			
渉外担当	JA7BGK	新野 弘之			
〃	JA7CQF	磯田 一			
会計担当	JH7KOU	佐賀 俊博			
庶務担当	JH7QLQ	高野 栄二			
編集担当	JH7LDO	小野寺三郎			
HF担当	JA7ASJ	小泉 裕洋			
V・UHF 担当	JA7GUN	武田 久尚			
コンテスト 担当	JA7DSO	志摩 茂郎			
サテライト 担当		支部長兼任			
広報担当					

会 告

J A R L 宮 城 県 支 部
支 部 長 小 元 久 仁 夫

昭和 55 年度 J A R L 宮 城 県 支 部 大 会 を 下 記 の 通 り 行 い ます。

記

日 時：昭和55年9月14日(日) 午前10時30分より午後2時30分まで(午前10時開場)

会 場：仙台市桜ヶ岡(西公園内)
仙台市民会館地下「展示室」

プ ロ グ ラ ム

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. あいさつ(支部長, 来賓) | 6. 昭和55年度予算 |
| 2. 表彰(本部長表彰, 支部長表彰) | 7. 昼 食 |
| 3. 昭和54年度事業報告 | 8. 講演 専務理事 J A 1 A D 齊藤 健氏 |
| 4. 昭和54年度決算報告 | 9. 映 画 |
| 5. 昭和55年度事業計画 | 10. 共振周波数あてクイズ当選発表 |

*全体の進行の都合により一部プログラムに変更のある場合がございます。

*支部大会終了後、午後3時から第1会議室にて懇親会(会費2,500円)を行います(出席希望者は当日受付にてお申込み下さい)。

新 規 事 業 と 支 部 運 営 の 方 針

J A 7 A F P 小 元 久 仁 夫

私の支部事業に対する抱負の一端を今年実施する新規事業からとりあげ、また支部運営の方針についても若干御説明申し上げます。

1. 支部規程の改正・補充(制定)

これまでの支部規定は連盟の規程や現状にそぐわない点や不明瞭な点が多く満足できるものではありませんでした。そこで充実した支部事業の企画とその執行のため、先ず私が着手した最初の仕事は、支部規程の見直しと整備(改正・補充・制定)を行い、新たに地域クラブ規定および委員会設置規定を制定し、支部の旅費規定に関しても内規を定めました(6月29日制定。別冊支部規程集参照)。

2. 支部報の発行と配布

支部会員数は6月1日現在2,199名ですが、支部の事業をお知らせし、県内のクラブの行事や会員の皆様のJ A R L に対する御意見を自由に述べて頂く

機会は支部大会と支部報しかないと思います。支部大会に全会員が出席することは不可能だけに支部報の果す役割の重要性を私は痛感いたします。しかし、支部費は年間70万円程度であり、年2回支部報を発行し皆様のお手許に届けるとしますと、予算の半分以上を使ってしまいます。

支部報の重要性を認めて最低年2回は発行し、1回は郵送で皆様のお手許に届ける努力をすとしても、残り1回は今後郵便料金の値上げによっては、はなはだ恐縮に存じますが登録クラブ代表者を通じて受取って頂くしかないように思います(多少はいくつかのハムショップに置いてもらうよう交渉はします)。

ところで、これまで発行された3部の支部報は他県の支部報と比較し、内容的に勝っているとは思えません。そこで今回、支部役員の中に編集担当の幹事をおき、編集専門委員会を発足させましたので、徐々に内容の充実をはかっていきたいと考えており

ます。

3. 1.2GHZオールモード・トランスバーター製作講習会の開催

現在全国的に1.2GHZの静かなるブームが起っています。支部役員会ではこれを察し来るべき静止衛星通信時代に備え、またアンテナの製作実験や、伝播通信実験等に役立てようと考えて第1回の標記講習会の実施を企画いたしました。1.2GHZに興味をお持ちの方々の参加を希望いたします(詳細8頁参照のこと)。

4. 宮城県全市町村交信賞の発行

標記のアワードを1981年から発行すべく、アワード委員会を設置し宮城県全市郡交信賞を含めて鋭意規約の検討をお願いしてあります。支部大会の際にその詳細をお知らせできると思っています。なおこのアワードのデザインは会員の皆様からの公募によって決定したいと考えております(詳細8頁参照)。

また今秋の東北地方本部長会議の際、各県の支部長の同意が得られれば、全東北市町村交信賞および全東北市郡交信賞を制定・発行したいと考えていますが、こちらの方は多少実現まで時間がかかり、次年度の努力目標になるかもしれません。

以上が今年度事業に新規に繰入れられたものですが、他の事業は昨年並実施の予定です。たゞ来年1月のオール宮城コンテストは内容が若干変更になるかもしれません。JARL NEWSをご注意下さい。

5. Satellite QSOの普及

Phase III Aが順調に打上ってれば、今頃私達はその恩恵にあずかり、144MHz帯の高いバンドは日夜HF帯の14MHzや21MHz帯同様大変QRMになっていたと想像されます。しかし、皆様すでに良く御存知の如く、打上の結果は失敗で「まことに無念！」の言葉に尽きます。

いずれ近い将来、静止軌道に近くアマチュア衛星が打上げられることと思います。衛星が打上げられてから衛星通信のノウハウを学習するより、現在でも衛星通信はAMSAT OSCAR-7&8で特に迎角可変装置のないアンテナでも28MHzと144MHz、または144MHzと430MHz帯の高利得アンテナがあれば可能ですので、折をみて学んでおくことが望ましい訳です。

県内の登録クラブで衛星通信法についての勉強会

をしたいが適当な講師がいないという場合には、私は嬉んで出掛けて参りますのでその節は早目に御連絡下さい。

6. V・UHF帯の使用区分

JARLでは1976年にV・UHF帯の使用区分を定め予告期間を2年おき1978年1月1日から現行の使用区分を実施して参りました。しかしながら、144MHz帯ではFMでの運用者がSBやCWによる運用者よりも多く、トラブルの発生が多く、また一方では宇宙通信業務との周波数の競合問題があって混乱の感なきにしもあらずという現況です。

JARLでは今年度から周波数委員会を発足させ、V・UHF帯の使用区分の見直しを含めて検討することになりました。東北地方本部の委員長はJA7AFP(私が)、副委員長にJA7IWF(植松一東北地方監査長)が本部長から委嘱されました。本県の委員には県北担当にJA7KC(古川クラブ)、県南担当にJH7BJH(互理クラブ)を6月29日のクラブ代表者会議において決定いたしました。

本件に関し会員の皆様の建設的かつ具体的な御意見を私共一同お待ちしておりますので、御意見をお持ちの方々は是非この機会(例えば今度の支部大会など)にお聞かせ下さいませようお願い申し上げます。

しかしながら、JARL NEWS等でたびたび指摘されておりますようにV・UHF帯の使用区分は現在でも生きていますので、どうぞ会員の皆様にはJARLのV・UHF帯の使用区分を是非遵守して運用下さいませよう御注意とお願いを申し上げる次第です。

7. 会員増とクラブ入会の促進

本県の会員数は前述の通り約2,200人で4人に1人程度にすぎません。支部費は支部会員数にスライドして支給されますので、私達の周囲の仲間を全部JARL会員にしましょう。

現代の社会における個人の力はまことに微々たるものです。私達の共通の趣味であるアマチュア無線の權益を守り、存続させ、かつ充実発展させていくためには同好の志が寄り集って一致団結して事に当ることが必要であります。そしてJARLは真にそれを目指しております。このことを非会員の皆様にも納得して頂けるよう説明できるのは、真にあなた方会員の方々であり、またあなた方はその手本でもあ

ります。是非1人でも多くの友を仲間としてJARL会員にし、かつJARLの健全な発展のために御協力と御支援をお願い致します。

またJARL登録クラブはそれぞれの地域・職域・学校等のそれぞれの分野でいろんな特色のある行事を企画し実施しています。是非この際JARL登録

クラブへの入会をお勧めいたします。

以上、私の抱負の一端を申し述べて参りましたが、アマチュア無線の楽しみ方は千差万別です。モラルを守ってみんなで仲良く、ハムのだいたいご味を満喫しましょう。では支部大会で会いましょう！

昭和54年度決算報告

項 目	収 入(円)
前 年 度 繰 越	69,875
支 部 費	608,000
雑 収 入	2,997
計	680,872

項 目	支 出(円)
支 部 大 会 費	200,883
会 議 費	122,690
催 物 費	192,200
通 信 費	20,900
交 通 費	16,540
支 部 報 発 行 費	36,800
事 務 印 刷 費	7,500
コ ン テ ス ト 費	32,000
計	629,513

次 年 度 繰 越 51,359

昭和55年度予算

項 目	収 入(円)
前 年 度 繰 越	51,359
支 部 費	694,000
雑 収 入	10,000
計	755,359

項 目	支 出(円)
支 部 大 会 費	160,000
会 議 費	90,000
催 物 費	100,000
通 信 費	120,000
交 通 費	75,000
消 耗 品 費	2,000
支 部 報 発 行 費	120,000
事 務 印 刷 費	26,000
コ ン テ ス ト 費	55,000
雑 費	7,359
計	755,359

昭和54年度事業報告

- 54. 4. 1～8 宮城マラソンコンテスト
- 6.12 非常通信訓練コンテスト
- 7. 1 クラブ代表者会議
- 9.23 支 部 大 会
支 部 報 発 行
自作品コンテスト
- 55. 1.12～13 オール宮城コンテスト
- 1.20 クラブ代表者会議
- 3.22～23 2アマ国試対策指導会

昭和55年度宮城県支部事業計画

(昭和55年7月18日変更)

- 55. 6.12 宮城県非常通信訓練コンテスト
- 6.29 クラブ代表者会議
宮城県支部規程の改正・補充(追加)
- 8.25 宮城県支部報No.4の発行(追加)
- 9.14 宮城県支部大会(期日変更)
- 11. 3 公 開 運 用 (仙 台 市)
- 11.24 1.2GHZ トランスバーター組立講習会(追加)
- 56. 1. 1 宮城県全市町村交信賞の発行(追加)
- 1.14～15 オール宮城コンテスト
- 1.18 クラブ代表者会議
- 2.25 宮城県支部報No.5の発行(追加)

昭和55年度オール宮城コンテスト結果(*は入賞局)

Single Band

21MHZ

1	* JR7BDF	6,750
2	* JR7GVX	5,824
3	* JR7BRS	4,876
4.	JR7GWC	4,669
5.	JR7FHB	4,092
6.	JR7AAB	3,969
7.	JH7CAH	3,818
8.	JR7CGR	3,477
9.	JR7JDV	3,401
10.	JR7DDY	3,297
11.	JR7FMH	3,060
12.	JR7HZB	2,916
13.	JR7ASO	2,880
14.	JR7MPV	2,700
15.	JR7KWW	2,646
16.	JR7IFF	2,520
17.	JR7KME	2,438
18.	JR7FSK	2,340
19.	JH7IMM	2,322
20.	JR7NVR	2,074
21.	JR7JQZ	2,014
22.	JH7WLR	1,824
23.	JR7DSD	1,722
24.	JR7IFK	1,695
25.	JA7HWS	1,666
26.	JH7OHN	1,665
27.	JR7ATT	1,590
28.	JR7NJL	1,470
29.	JR7KPY	1,245
30.	JR7NIO	1,232
31.	JR7CUX	1,190
32.	JR7KLO	1,155
33.	JR7BNK	1,044
34.	JR7NIB	636

28MHZ

1	* JH7UJU	2,109
2	* JR7DWK	637
3	* JA7AFJ	546
4.	JR7ITO	390
5.	JH7FZI/7	208
6.	JR7FSL	168

50MHZ

1	* JH7AJB/7	2,706
2	* JA7EVP	2,450
3	* JR7KLM	2,376
4.	JR7HOD	2,331
5.	JR7OPP	2,178
6.	JR7MXC	1,980
7.	JR7NOL	1,780
8.	JA7MYX/7	1,764
9.	JR7MWS	1,632
10.	JR7MPR	1,602
11.	JA7ODY/7	1,596
12.	JR7DDG	1,476
13.	JH7EKJ	1,224
14.	JR7KEK	1,005
15.	JH7ORD	816
16.	JR7MXF	754
17.	JR7JZA	256
18.	JH7UYO	36

144MHZ

1	* JR7HJN	6,180
2	* JH7WDX	4,284
3	* JR7HTF	4,212
4.	JH7OJB	3,666
5.	JA7TYE	3,348
6.	JR7PBY	3,146

7.	JR7CAT	2,967
8.	JR7DXN	2,829
9.	JR7PIV	2,784
10.	JR7KVZ	2,541
11.	JR7HOB	2,480
12.	JR7JRS	2,247
13.	JR7LJZ	2,222
14.	JR7OCB	2,079
15.	JR7FHE	2,002
16.	JH7LVF	1,760
17.	JR7ISJ	1,494
18.	JH7TWH	1,314
19.	JH7TKY	1,197
20.	JR7JYN	1,064
21.	JH7WQX	867
22.	JA7AEM	260
23.	JA7UDE	2

Multi Band

1	* JH7PQS	18,120
2	* JH7MYC	9,440
3	* JA7BAT	8,280
4.	JR7KSV	6,318
5.	JH7OSM	5,796
6.	JR7FHN	5,508
7.	JR7BMS	5,372
8.	JA7UQA	3,658
9.	JA7PCH	3,604
10.	JR7MRB/7	2,646
11.	JR7LOS	2,568

オール宮城コンテストを終わって

今年もたくさんの方々から、ログを提出していただき、有難う御座居ました。参加者のコメントによれば、JA7局に対するハンディキャップがきつすぎると云う意見と、マルチプライアに対する考慮を求める声が多かった様です。しかしながら、当コンテストの発足の意義は、新人とOMとの交流をはかって、アマチュア無線家同士のつながりを深くするというものなのです。今回のルールは、この点に充分な意を用いて、委員会で作成したものです。ローカルのハンディキャッ

前年度コンテスト委員 JA7CQF 磯田 一

プコンテストとして、皆さんに受け入れていただければ幸いです。

ただハンディやマルチに対しては、今後共さらに考えていこうと思っておりますので、どしどしその他の点についても、御意見をお寄せ下さい。

宮城県内のアマチュア無線家の融和をはかるための「なごやかな」コンテストとして、今後共、皆様の御支援がいただければ幸いです。

昭和55年度オール東北コンテスト入賞局(宮城県関係)

Single Band			
3.5MHZ		2.	JR7FHB
1.	JH7HUB	3.	JR7IFU
7MHZ		28MHZ	
1.	JA7CVQ	2.	JH7JGG
14MHZ		3.	JH7UJU
1.	JR7SEI	50MHZ	
2.	JH7UJI	3.	JH7GWC
21MHZ		144MHZ	
1.	JR7BRS	3.	JA7EPC
		SWL	
		1.	JA7-6,686
		2.	MATSUOKA
		Multi Band	
		1.	JR7JMU
		3.	JH7TIX
		Club	
		1.	JA7YFH
		2.	JA7YDX
		3.	JA7YCQ

昭和55年度宮城県非常通信コンテスト結果（*印は入賞局）

Single Band		144MHZ			
3.5MHZ		1. * JA7EWJ/7	648	6. JA7GDI	364
1. * JH7AXI	45	2. JA8XIB/7	574	7. JA7MYX	286
21MHZ		3. JH7THS	572	8. JH7KCY	272
1. * JR7BRS	552	4. JH7IHH	468	9. JR7LOS	243
2. JA7HQI/7	253	5. JR7MQH	372	10. JH7TKY	216
3. JR7IFU	250	6. JH7PDG	300	11. JH7LKO	128
4. JR7OEF	210	7. JA7AFJ	297	12. JA7JS	70
5. JA7IW	36	8. JH7BFL	290	13. JH7NKG	27
5. JA7OP	36	9. JA7PLR	286	14. JR7QQO	4
7. JA7UDM	21	10. JA7HOQ	280		
7. JR7MCR	21	11. JH7ILT	270		
28MHZ		12. JR7PEJ	207	Club	
1. * JH7UJU	340	13. JA7IOE	128	1. * JA7YCQ	2,538
2. JH7GFO/7	84	14. JA7AMB	90	2. JA7ZVS	2,447
3. JR7DWK	36	15. JR7HFB	84	3. JA7ZHU	675
4. JR7ITO	16	16. JA7FC	72	4. JA7YAA	580
5. JH7CUO	6	16. JA7TKC	72	5. JH7YFB	578
6. JR7FMH	1	16. JH7LDO	72	6. JA7YFB	574
50MHZ		19. JR7CAD	70	7. JA7YDX	520
1. * JI1FLB/7	208	20. JH7UJI	66	8. JA7YBI	448
2. JA7EVP	180	21. JH7VBR	40	9. JA7YGX	341
3. JR7QPT	105	22. JA7VTX	6	10. JA7YDU	36
4. JR7RZK	96	22. JR7PEM	6		
5. JH7HHN/7	44	24. JA7QVP	4		
6. JA7ODY/7	30				
7. JH7FZI/7	12	Multi Band		Disqualification	
8. JH7XUZ/7	6	1. * JR7JYT	1,625	JR7KLF	(no summary)
9. JI1LOFP/7	6	2. * JH7UGG/7	1,416	JR7NJI	(delay)
		3. * JR7IFF	954	JR7OPP	(delay)
		4. JA7DXX	576		
		5. JH7UJN	490		

コンテストに対する意見

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①コンテスト続行希望（JR7JYT） ②時間帯をずらしてほしい（JH7UJI） ③SWL部門を設けても良いと思う（JH7GFO） ④コンテストのインフォメーションは正確に！（JR7DWK） ⑤コンテストの時間がよくないと思う（JH7CUO） ⑥参加局少ない，J.N.のPRが遅い（JR7BRS） | <ul style="list-style-type: none"> ⑦コンテスト要領とJ.N.でバンドが異なる。J.N.で統一すべき（JA7OP） ⑧同上，マルチ部門が不公平にならぬように配慮されたい（JA7OP） ⑨来年から50MHZは是非入れよ（144MHZは除外しても）（JA7OP） ⑩3.5MHZは局数が少ない。7MHZの方が良い（JA7OP） |
|--|--|

宮城県支部主催のコンテストを願ひて

当支部主催のコンテストには、1月に実施されるオール宮城コンテストと6月に実施される宮城非常通信コンテストの二つがあります。今年はいずれのコンテストにも全地域から多数の局の参加を得て充実した内容で無事終了することができましたことは、参加局は勿論のことご協力を下さった方々に衷心から深く感謝申し上げます。

コンテストは通常のQSOと異なり、コンタクトに要する時間がせいぜい数秒で終了してしまうため、無味乾燥なものだと云われる向きもあるでしょうが、コンテストを通じて味える楽しみにも大きなものがあると思います。例えば、コンテストを通じてご無沙汰し

コンテスト委員長JA7DSO 志摩茂郎
ていた局の消息を知ることができたり、或はローカル局独特のなごやかさを感じたり、更には、日常特定の相手としかQSOをしなかったのがこの機会を通じて、多数の局とのつながりを持つことができたりするのはコンテストの利と云えるのではないのでしょうか。

要はコンテストに対する考え方によるものと思います。その点をご理解頂き、今後とも多数の局の参加を心からお願い申し上げます。

さて、いずれのコンテストにも色々問題点があるものと思われませんが、その点をよく考慮し、改善すべき点は即改善していきたいと考えておりますので皆様からの建設的なご意見、ご要望を心からお待ちしております。

支 部 登 録 ク ラ ブ 紹 介

◎ 仙台アマチュア無線クラブ(JA7YDM)

代表者 JA7EWO
大友 豊

仙台クラブは昭和27年に東北初のアマチュア無線クラブとして在仙の同好の志が集って発足しました。そして28年の永きにわたり本当にアマチュア無線を愛する人々によって運営されて来ました。

現在会員は、45名ではありますが、いずれもアマチュア無線を生涯の趣味として、細く長く楽しむ人達ばかりです。そのため外部から見ると、一見アクティビティーの低いクラブに見られますが、実際は一度、何か大きな行事があると全員が、もうれつなファイトを燃やして参加します。その様なわけで会員は紳士的であり、友好的で研究心が旺盛です。

なお、当クラブはコミュニケーションの場として、年間行事(昨年例)を行って居ります。1月オール宮城コンテスト実施。3月クラブ総会、4月お花見、8月フィールドコンテスト参加(泉ヶ岳移動1泊)、9月宮城県支部大会協力、10月紅葉狩、12月クラブ忘年会、なお、当仙台クラブは前記の様な考えを持つ人々を大いに歓迎いたします。

御入会を御希望の方は下記へ御連絡下さい。

仙台市川内追廻住宅 278 号(磯田方)

仙台アマチュア無線クラブ事務所

TEL 0222 (27)4744

◎ 仙学連

仙学連事務総長 JH7UJU
西内伸広

仙学連は、仙台圏学校クラブ連合の略称であり、昨年4月に、12校の参加をもって設立されたものです。その主たる発足理由は、仙台付近に於ける、高校、高専、大学クラブ間の友好を深め、相互のクラブの発展を望むことにあります。

以上のような理由で発足した仙学連が、昨年度に行った主な活動としては、JARLコンテストのクラブ対抗に於ける全国制覇、芋煮会、仙台市民祭り参加のFOXハンティング、仙学連コンテストの実施、機関誌の発行等があります。FOXハンティングは、HAM部門とFM部門に分かれ、大成功のうちに終わり、又、機関誌は、内容の濃さプラスユニークさで、好評を得ています。今年度からは、オンエアーミーティングを行ない、メンバー個々の交流を計るなどしています。

このように、仙学連としては、昨年度以上に発足理由にのっとった活発な活動を続けていきたいと考えています。

宮 城 県 支 部 登 録 ク ラ ブ 名 簿

登録番号	クラブ名称	クラブ局コール	代表者コール 連絡者コール	登録番号	クラブ名称	クラブ局コール	代表者コール 連絡者コール
06-1-1	石巻クラブ	JA7YBI	JA7FC "	06-2-2	東北学院大学	JA7YGX	JH7EKJ JH7SJF
06-1-2	気仙沼クラブ	JA7ZRY	JA7KND "	06-2-3	仙台一高	JA7YDX	JH7WOB JH7PQS
06-1-3	古川クラブ	JA7YZO	JA7KC JA7FFV	06-2-4	東北工業大学	JA7YFB	JH7PVM "
06-1-4	仙台クラブ	JA7YDM	JA7EWO JA7CQF	06-2-5	東北学院大学 工学部	JA7YFH	JH7PDS JH7NGW
06-1-5	塩釜クラブ	JA7ZHU	JA7KP JA7GDI	06-2-6	仙台電波高専	JA7YCQ	JH7QMG "
06-1-6	くりこまクラブ	JA7ZVS	JA7KOJ "	06-2-7	仙台二高	JA7YIL	JH7MRK JR7GVV
06-1-7	名取クラブ	JA7YTM	JA7WQF JA7HUB	06-2-8	仙台圏学校		JH7UJU "
06-1-8	蔵王クラブ	JA7ZXT	JA7NNC "	06-4-3	NJDXC		JA7AD "
06-1-9	登米クラブ	JA7ZYK	JA7LN JA7WAG	06-4-5	ぬどいもクラブ	JA7YYV	JA7JED "
06-1-10	岩沼クラブ	JA7YOR	JA7IJ "	06-4-6	IECクラブ	JA7ZRF	JH7QLQ "
06-1-11	亘理クラブ	JA7YZR	JA7NFZ "	06-4-7	ブルースカイ 仙台クラブ	JA7ZVJ	JH7WYB "
06-2-1	東北大学	JA7YAA JH7YAA	JA9PPC/7 JH7IMN	06-4-8	宮城メディカル クラブ	JH7YFB	JA7TKC JR7CAD

・昭和55年度支部大会で表彰される方々

*多年にわたり連盟本部・地方本部および支部活動に顕著な貢献をされたJ A 7 HC野口氏と、支部活動を通じて地域クラブの組織作りに貢献されたJ A 7 CCR高山氏に対して、東北地方本部長よりそれぞれに表彰状と感謝状が授与されます。

*昭和55年度オール東北、オール宮城および宮城県非常通信訓練コンテストの上位入賞者(本報5~6頁に掲載)の方々は本部長または支部長から表彰されます。どうぞ支部大会に出席されて会員の皆様からの祝福を受けられますようお願い申し上げます。なお当日ご都合により欠席される場合には支部長またはコンテスト委員長まで、その旨御一報下さい。

・1.2GHZオール・モード・トランスバーター製作講習会の開催

日時:昭和55年11月24日 10時から

会場:JARL東北地方事務局。

会費:6万円(内容:オール・モード・トランスバーター組立キット(144MHz帯入力,出力1W)5万3千円。23エレ・ループアンテナ7千円)。

申込:〒980 仙台市大町2-13-12(立町ビル)JARL東北地方事務局気付

宮城県支部1.2GHZトランスバーター組立講習会実行委員長 武田久尚宛往復ハガキ(返信人住所・氏名を明記の上)でお申込み下さい。

〆切:昭和55年9月30日 先着30名までとし人数が20名を割った場合には中止いたします。10月10日頃までに参加の可否のお知らせをしますので10月31日までに会費を現金為替(受取人欄空白とする)でお送り下さい。

*144MHz帯の入力で出力1Wのオール・モード・トランス・バーターです。工具は各自で持参のこと。調整は発売元が出張してきて面倒をみてくれます。

*価格は7月21日現在のもので発売元の確認をとっていますが、若干変動する場合のあることをお含みおき下さい。

*変更届の手続きの案内は50円切手を2枚同封してお問合せ下さい。

・宮城県全市町村交信賞および宮城県全市郡交信賞の制定について

県支部では標記アワードを1981年から発行する予定で準備を進めていますが、今回アワードのデザイン(賞状用)を公募することになりました。ふるって御応募下さい。

応募資格:支部会員に限る。

デザイン:自由。必ずJ.A.R.L.の表象マークを入れること。(但し未発表のものに限り、以後の著作権は県支部に属する)。

大きさ:A3版(刷上りA4版)、2色まで。

〆切:昭和55年11月3日

申込・問合わせ先:〒980 仙台市大町2-13-12(立町ビル)JARL東北地方事務局気付
宮城県支部アワード委員会

委員長 高橋信男宛

発表:昭和56年度支部大会にて入選1名、佳作1名を表彰します。

・宮城県支部報No.5の原稿募集について

次の支部報は昭和56年2月25日発行の予定です。会員の皆様からの投稿を歓迎いたします。

原稿:御意見,紹介,技術展望,紀行文,マンガ等アマチュア無線に関係のあるものなら何でもOK。

用紙:文章はA4版横書き原稿用紙(丸善の67など)にお書き下さい(句読点は1マスを使い数字は1マスに2文字入ります)。マンガやカットは1コマ5cm×5cmでお願いします。

写真:編集長にお問合わせ下さい。

〆切:昭和56年1月20日

送り先:〒980 仙台市大町2-13-12(立町ビル)日本アマチュア無線連盟
東北地方事務局気付
宮城県支部報編集委員会

委員長 小野寺三郎宛

・支部大会にはこの支部報№4を御持参下さい。